

中元祝酒の記

福沢諭吉

青空文庫

『西洋事情外篇』の初巻にいえることあり。「人もしその天与の才力を活用するにあたりて、心身の自由を得ざれば、才力ともに用をなさず。ゆえに世界中、なんらの国を論ぜず、なんらの人種たるを問わず、人々にんにん自からその身体を自由にするは天道の法則なり。すなわち人はその人の人にして、なお天下は天下の天下なりというが如し。その生るるや、束縛せらるることなく、天より付与せられたる自主・自由の通義は、売るべからずまた買うべからず、人としてその行いを正しゅうし、他の妨をなすに非ざれば」云々うんぬんと。

春しゅんらい来、国事多端、ついに干戈かんかを動かすにいたり、帷幄いあくの士は内に焦慮し、干役かんえきの兵は外に曝骨ばつこつし、人情にんじやう恟々きやうきやう、ひいて今日にいたる。ここにおいてか世の士君子あるいは筆を投じて戎軒じゅうけんを事とするあり、あるいは一書生たるを倦うみて百夫の長たらんとするあり、あるいは農を廢して兵たる者あり、商を転じて士たる者あり、士を去りて商を営む者あり。事緒紛紜じしよふんぬん、物論喋々ぶつろんちやうちやう、また文事をかえりみるに違いとまあらず。ああ、これ、革命の世に遁のがるべからざるの事変なるべきのみ。

この際にあたりて、ひとり我が義塾同社の士、固く旧物を守りて志業を変ぜず、その好むところの書を読み、その尊ぶところの道を修め、日夜ここに講究し、起居常時に異なる

ことなし。もつて悠然、世と相^{あい}おりて、遠近内外の新聞の如きもこれを聞くを好まず、ただ自から信じ自から楽しみ、その道を達するに汲^{きゅう}々たれば、人またこれに告ぐるに新聞をもつてする者少なく、世間の情態、また何^{なに}様たるを知らず、社中自からこの塾を評して天下の一桃源と称し、その景況、まったく世と相反するに似たり。

然りといえども、よく事理^{つまびらかに}を詳し、そのよるところ、その安んずるところを視察せば、人おのおのその才に所^{しよ}長^{ちやう}あり、その志に所^{しよ}好^{こう}あり、所好は必ず長じ、所長は必ず好む。今天下の士君子、もつばら世事^{せいじ}に鞅^{おう}掌^{しょう}し、干^{かん}城^{じやう}の業^{わざ}を事とするも、あるいは止むをえざるに出ずるといえども、おのずからその所長所好なからざるをえず。ゆえにかの士君子も、天与の自由を得て、その素志を施すものというべし。また我が党の士、幽窓の下において、秋夜月光に講究すること、旧日に異なることなきを得て、修心開知の道を樂しみ、私に濟^{さい}世^{せい}の一斑を達するは、あにまた天与の自由を得るものといわざるべけんや。

然^{しか}ばすなわち我が輩の所業、その形は世情と相反するに似たりといえども、その実はともに天道の法則にしたがいて天賦の才力を用ゆるの外ならざれば、此^し彼^ひの間^{かん}、毫^{ごう}も相^{あい}戾^もることなし。前日の事、すでにすでにかくの如し、後日の事、またまさにかくの如くなる

べければ、我が党の士、自から阿らず、自から曲げず、己に誇ることなく、人を卑むこと
 なく、夙夜業を勉めて、天の我にあたうるところのものを慢にすることなくんば、あに
 ただ社中の慶のみならん。そもそも天の此文を喪さざるの深意なるべし。本日たまたま中
 元、同社、手から酒肴を調理し、一杯をあげて、文運の地におちざるを祝す。

慶応四年 戊辰 七月

慶応義塾同社 誌

青空文庫情報

底本：「福沢諭吉教育論集」岩波文庫、岩波書店

1991（平成3）年3月18日第1刷発行

底本の親本：「福沢諭吉選集 第3巻」岩波書店

1980（昭和55）年12月18日第1刷発行

入力：田中哲郎

校正：noriko saito

2007年8月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

中元祝酒の記

福沢諭吉

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>